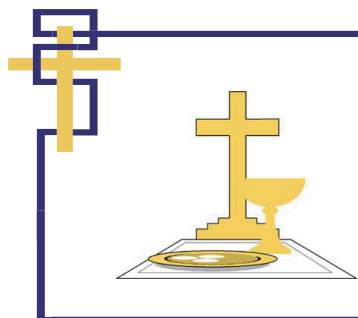




広報 なかわだ

第433号

2016年5月1日

2016年5月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://nakawada-catholic.com>

叙階50年記念にあたって〔1966年～2016年〕

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

5月1日復活節第6主日に、梅村司教様司式で50年の記念ミサが挙げられます。宣教司牧した各教会からも大勢の方が参加される予定ですので、皆様と慶びと感謝を分かち合いたいです。

2013年にフランシスコ教皇様が選ばれ、2014年に私は中和田教会に教会管理者として赴任しました。

1967年私の叙階の1年後に、横浜教区に一粒会が正式に発足しましたが、カナダのアマリエ・ジョンダさんが、恩人として私の神学校生活を支えてくださいました。

神学校院長様から、「あなたの司祭生活の間、1年に1度ミサの意向を捧げるように」と言われ、カリスとパテナをいただきました。紫水晶がはめこんであり、厚い金張りのうらに【アマリエ・ジョンダ】と刻印されています。カナダの恩人の会は現在消滅とのことで、家族との連絡もとれなくなりましたが、11月には必ず意向を捧げて50年を迎えました。 神に感謝！



アマリエ・ジョンダさんが日野神父様の司祭叙階記念でプレゼントしたカリス



	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
1	日	主日ミサ (10:00)	復活節第6主日 [金祝ミサ]	金祝パーティー (12:00)
6	金	初金ミサ (9:30)		
8	日	主日ミサ (9:00)	主の昇天 [祭]	教会委員会
11	水			聖書の会 (10:00)
14	土	祝日ミサ (9:30)	聖マチア使徒 [祝]	
15	日	主日ミサ (9:00)	聖霊降臨の主日 [祭]	庭掃除
18	水			聖書の会 (10:00)
20	金	週日ミサ (9:30)		
22	日	主日ミサ (9:00)	三位一体の主日 [祭] 子どもミサ	ミニコンサート
25	水			聖書の会 (10:00)
27	金	週日ミサ (9:30)		
29	日	主日ミサ (9:00)	キリストの聖体 [祭]	

～ 中和田の風 ～

「モンテッソーリ宗教教育」

感性を豊かに養う



2016年4月29日 司祭叙階50周年を迎えられた日野武満神父様（83歳）にお話を伺いました。

▲受洗のきっかけをお聞かせください。

⇒戦後1949年16歳の時、ザビエルの聖腕が東京に来たのを見て不思議なことだと思いました。その直後から近所にあった聖アンセルモ教会に通うようになり、ドイツ人の神父や、大勢の青年たちとの交流を通してイグナチオ教会で受洗しました。当時電気会社に就職していましたが、仕事の展望が見えず、大学に入り直して出来ることなら神学を学びたいと思うようになりました。父から援助を得ることができませんでしたので、アルバイトをしながら予備校に通い2年後に上智大学・文学部哲学科に入学できました。これで一生この道を歩むようになるだろうと覚悟しました。今から考えればこの時が召し出しだったのでしょう。

▲子供たちにモンテッソーリメソッドによる要理を教えていらっしゃいます。その特徴を教えてください。

⇒医師であったマリア・モンテッソーリは、はじめに知的障害の子供のために開発した教材を使用する教育法（感覚方法論）を確立させました。その方法を一般の幼児教育にも応用できるように発展させたのがモンテッソーリメソッドです。また直弟子にあたるソフィア・カバレッティはモンテッソーリメソッドを新旧約聖書を題材として宗教学に取り入れました。

司祭叙階から4年後に大津教会で幼稚園の園長を任されて以来10年以上幼児教育に携わった経験を生かし1984年から2年間研修休暇を頂いてローマ教区立の幼児教育宗教科で勉強しました。

その特徴は聖書を読み、模型、絵カード、塗り絵などを使用し、見る、触れる、塗るなどの体験を通して最後の晩餐、復活の墓、典礼の色、祭服、祭壇などの意味を知り、畏敬の念を持たせ理解を深めさせる宗教的養成です。

1987年東京教区で発行された「子供の宗教教育について」に1年間詳細を投稿しました。中でも重要なのはイエス様の例え話の勉強です。特にヨハネ10章の『良い牧者』では模型教材として、良い牧者、雇われた牧者、羊、狼、柵などを使用し、子供たちに例え話を再現させることによって、イエス様そのものである良い牧者が命をかけて羊たちを守り導く姿に気づかせます。

イエス様の時代、いつ、どこで、どのように歴史の出来事が起こったのか当時の地図を描かせ考えさせるという体験を通し、それらの出来事が聖書と典礼によって今でも伝えられ、日々の生活の中で関わりを持っているということを印象づけることができます。3才から12才で堅信の秘跡を受けるまで、年齢と発達に応じてしっかりと準備された教材があることは一層効果をもたらすことと思います。お母さんも一緒にどうぞ。

▲聖書の中でも特に旧約聖書の創世記は現代の常識からかけ離れていますが、子供にはどう伝えるのですか？

⇒人間は無から有を作ることはできません。暗黒物質を探索している現代でもこの質問に答えることができません。私たちはその答えを聖書で見つけることができるのです。「神は天と地を創造され、彼はそれを満たしていました」人のためにすべてのものが準備されていたので人にはどんな不足もありません。神の人間への愛の大きさに気づかせることが大切だと思います。



三浦海岸教会訪問

4月4日(月) みんなの会18人でカトリック三浦海岸教会を訪問しました。朝は雨模様で心配しましたが教会に着き、色とりどりの花々に飾られた花壇と小林神父様、数名の信徒の方に温かく迎えて頂いたときはほんと致しました。11時から祭日ミサを挙げて頂いた後、神父様を囲んで和やかなお茶のひと時を過ごさせて頂きました。小林神父様はお変わりなくお元気で、みんなの会一同再会の喜びを分かち合いました。

教会の前で記念写真を撮りおいた後は、駅近くの和定食のお店でゆっくり昼食を取り帰路に着きました。電車の車窓から散り始めた桜、菜の花、海などを眺め、普段あまりお話しする機会がなかった方同士で交流を持つことができた旅となったのではないのでしょうか。小林神父様、三浦海岸教会の皆様ありがとうございました。(みんなの会 今井)



「イエスと出会った五十嵐さん」 ～戸塚教会の講演会～

前科3犯、延べ20年を刑務所で過ごし、そこでの日々の中で聖書を通してイエス・キリストと出会い、森一弘司教様などのご指導で回心を果たし、出所後に自らの体験を踏まえて、再犯のない社会の実現を願ってNPO法人を設立して活動しておられる五十嵐浩志氏を迎えた講演会が戸塚教会の信徒グループによって企画され、ご赴任後初のミサとなるウルバン神父様司式の4月17日の主日ミサに引き続き開催されました。

犯罪者としての自分と恐れずに向き合い、神様に向かって心を開くことによって、多くの信仰の先輩方と出会い、支援して下さる多くの友にも恵まれて歩んでおられる五十嵐さんのこれまでの体験を、再犯者が50%を超える現状のいま、たいへん貴重なものとしてお聴きしました。

現在の五十嵐さんの活動は、出所者の働き場としての「マリアコーヒー」の販売事業、収監中の方とボランティア間の文通の促進、出所者の受け入れ支援の活動などがあります。

私も今井さんと共に文通ボランティアとして活動に参加しています。関心のある方、一緒にいかがでしょうか? 文通を求めている受刑者の方が沢山おられます。文通を通して、人間回復のきっかけになってくださることを願いつつ、小さくてもキリストの愛を伝えていければと思っています。(岩崎 好愛)

バザー実行委員会より

4月2日(土) 本年度のバザー実行委員会の予備会議が開かれました。昨年度の実行委員長である小野和江さんより、主な議題として「実行委員長の選出」と「ミニバザーの開催」が提示され、話し合われました。

役員については、全員の意志や個人的事情が示された後、投票とくじで決まりました。実行委員長に岩渕洋子さん、副実行委員長に中島喜美子さんが選出されました。

ミニバザーは、6月19日(日)のミサ後に実施することとなりました。親睦、福祉に加え、教会建設資金の一助にすることも目的にし、今後目的に沿った方法を話し合っていくこととしました。

4月24日(日)の第1回バザー委員会で、昨年度の反省を踏まえながら、ミニバザーの開催内容の検討をし、各担当責任者を決定する予定です。

皆様の暖かいご支援・御協力を宜しくお願い致します。

(滝川 清一)

ミニコンサート開催のお知らせ

ミニコンサート
5月の風にのせて

2016年5月22日(日) 10:30から
中和田教会聖堂

演奏者 ギターと歌とお話: 谷崎新一郎神父
(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)
ヴァイオリン: 奥田慶子
オルガン: 岩渕洋子

曲目: ガボット(ゴゼック) 他
愛の挨拶(エルガー)
アベマリア(グノー)
ブラザーサン シスタームーン

奥田慶子さんの、心の奥底に届く、優しく、温かな、美しいヴァイオリンの調べと、谷崎新一郎神父様のお話と歌、ギター演奏をお楽しみください。

終演後、演奏者を囲んで、飲み物と軽食などをしていただきながらの歓談のひとときをもちます。

当日、献金箱(自由献金)を置かせていただきますのでご協力をお願いいたします。

お問い合わせは... 今井まで 電話: 801-2017

中和田教会「みんなの会」

委員会だより

(文中敬称略)

△4月10日(日) 13名出席▽

■日野神父様のお話

・季節の始まりで、新しい色々なことが始まります。若い人や子ども達が教会に足がむくようにしたいと思います。

■各グループからの報告

●金祝準備委員会(井上)

・金祝パーティー会場が農協4Fに決まった。

・招待客の返事が70名程集まったので、これをもとに会場や式次第などを準備している。

●みんなの会(今井)

・4月は都合により休会とする。

・5月は4週目の22日(日)に「ミニコンサート」を実施する。バイオリン、オルガン、ギターによる親しみのある曲目を演奏していただく予定。

●行事(小山(利))

・3月27日のご復活祭のお祝いは、サロン形式で行った。卵の数を半分にしたが、不足気味のようだった。来年に向けてコーヒーマーカーや会場設営の検討をする。

●総務(小山(恭))

・5月のスケジュール確認。

●広報(武田)

・原稿依頼(4月20日(水)締切)

●建物を考える会・営繕(五十嵐)

・5月15日(日)に植木の剪定と庭掃除を予定している。(雨天時・5月29日)

・告解室の音漏れの防止策を考えている。

●福祉(阿部)

・愛の献金をカリタスジャパンへ送る。

・ホームレス支援のために、わかめ、みそ、油、お米を送った。

●要理(森脇)

・皆様のご協力で4人の子ども達が、無事に初聖体を迎えられた。

●宣教(岩崎・井上)

・第5地区湘南キリスト教セミナーは、11月19日(土)に戸塚教会で行う予定。講師は検討中。

・今年の第5地区の子ども達の活動は、5月15日の二宮の吾妻山公園の遠足と8月のキャンプと合同クリスマス会を大船教会で行う予定。

・3月21日に末吉町教会のリーダー研修会に参加した。

・泉区民クリスマスの実行委員会は、6月24日に第1回の打合わせを行う予定。

●財務(甲斐)

・3月の一般会計、建設会計、愛の献金会計報告がされた。

・一般会計の中から、200万円を建設会計に移した。

●典礼(小野)

・4月・6月の典礼予定の確認。

・受難の主日・復活の主日の振り返りをした。主日ミサに与る信徒には、ろうそくを持ち帰らないようにお願いする。信仰宣言でろうそくを使用したい。

・6月19日に、戸塚教会で合同堅信式が行われる予定。当教会からは、マナリリさんが参加予定。

・第6期共同体奉仕者養成コースが7月から始まる。積極的な参加を呼び掛けていきたい。

・ミサ中に体調が悪くなった方の為に、ソファアーベッドなどが必要ではないか。

↓建物を考える会、総務、財務で検討する。

■その他報告事項

・3月度月修資料が配布された。

・教会現勢報告の資料が配布された。

■討議事項

・2016年度自衛消防隊と教区災害時連絡員登録について議論され、原案どおり了承された。

・建物再建に関する教区建設委員会からの回答と問い合わせについて資料を基に報告された。(抜粋)

△教区建設委員会での審議結果▽

①立地条件等から宣教拠点としての価値を認め、建替えが妥当であると判断する。

②資金計画については、中和田教会からの回答内容を検討した結果、特例的に建設計画開始を承認し、司教顧問会に上申する。

△司教顧問会での審議結果▽

①近い将来、中和田教会に常住する司祭が派遣できない可能性があるため、それを踏まえた小教区のあるり方を、特に常住司祭不在でいかに宣教拠点として続けていけるかを前向きに検討していただきたい。

②現在の中心的活動層の方々だけではなく、「今後期待される層」の方々も交えてご検討いただきたい。

以上

(次回委員会5月8日)

